# 現代中国語の程度表現に関する研究

Nara Women's University

人文科学系・言語文化学領域　**前田　真砂美**　准教授　MAEDA Masami　博士（文学）（東京大学大学院）

■研究キーワード　中国語学

■主な所属学会　日本中国語学会

■研究者総覧　https://koto10.nara-wu.ac.jp/profile/ja.5c09d5cad3578698520e17560c007669.html　研究者総覧

## 研究概要

現代中国語の程度表現の研究をしています。程度表現に用いられる副詞や補語は、遡れば元は程度性とは直接にかかわりのない意味をもつ動詞・形容詞・名詞などの語です。それらの語の元の意味と程度表現との間にどのようなかかわりがあるのかを明らかにし、モノやデキゴトの観察や言及に比べて高度に抽象的な概念である程度性を、中国語話者がどのように認識し、言語化するのかという、程度性発現のメカニズムの解明に取り組んでいます。

また、無標形式の形容詞述語と、程度副詞や程度補語を用いる程度表現は、談話内での機能が異なるという観点から、程度表現が語用論的にどのような状況で使用され、どのように談話の展開に貢献するのかという、程度表現の談話上の機能についても検討しています。

## アピールポイント

1. どのような心的プロセスを経て程度の高低を捉え、それをどのようなときに、どのように表現するのかという点を明らかにすることで、中国語において抽象概念の理解と言語化のメカニズムを記述することができます。

2. 教育面への応用が期待されます。日常的に言語を使用することにおいて程度の高低に言及することには高い必要性があり、多くの場合、程度副詞や程度補語は初級段階の学習事項に含められます。事物の性質や状態に対する認識と程度表現との関係が解明され、どのような状況で、どのような発話の意図を反映して、どの形式が優先的に選択されるのかが明らかになれば、程度副詞や程度補語などの語の実際の運用に対して明確な指針を示すことができます。

中国語の程度副詞
現代小説における使用頻度上位語

日本語の程度副詞
現代小説における使用頻度上位語

お問い合わせ：奈良女子大学社会連携センター　Tel:0742-20-3734　Mail:liaison@cc.nara-wu.ac.jp

更新日：2025年1月1日